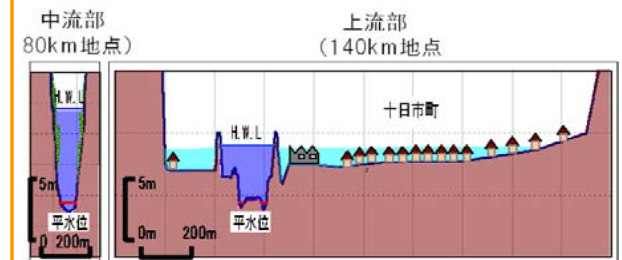
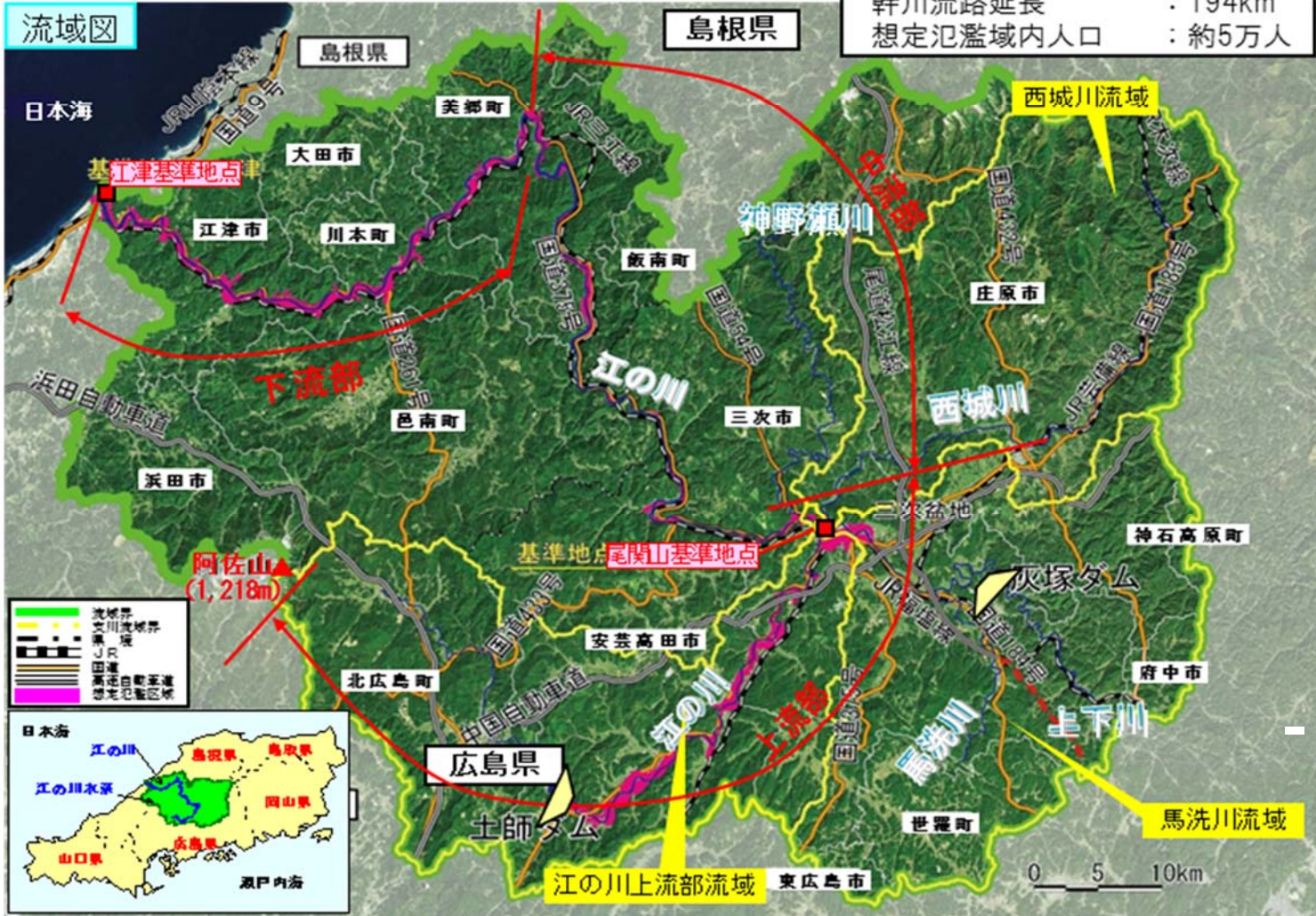


江の川上流の災害状況

中国地方整備局三次河川国道事務所

- 江の川沿いに吉田町・甲田町などの人口・資産が点在し、主要道路（国道54号・県道37号線・国道375号）により結ばれている。
- 人口・資産が多く存在する三次盆地では、江の川・馬洗川・西城川が集まるため、水量が激増し、一度、氾濫すれば甚大な被害が発生する。
- 三次盆地で同規模の3本の川が合流した後の中流部は、山間狭窄部となり洪水時には水位が急上昇する。

流域の概要

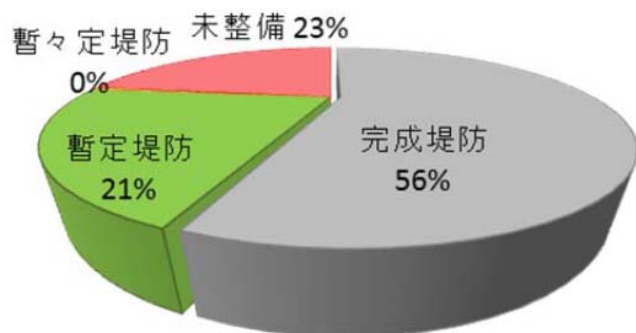


2-1.現状の堤防整備状況

○平成27年3月時点の堤防整備率は、上流の広島県側において56%、下流の島根側で16%、両者をあわせた整備率は約54%。

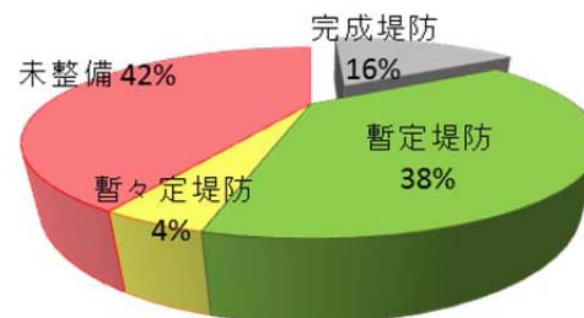
○計画断面に対して高さや幅が不足している区間があり、洪水により氾濫する恐れがある。

江の川の堤防整備の状況



(1) 上流：広島県側

三次河川国道事務所管内



(2) 下流：島根県側

浜田河川国道事務所管内

(平成27年3月現在)

	江の川上流		江の川下流	
	堤防延長 (km)	整備率	堤防延長 (km)	整備率
完成堤防	65.29	56%	10.55	16%
暫定堤防	24.71	21%	24.50	38%
暫々定堤防	0.46	0%	2.71	4%
未整備	25.82	23%	27.13	42%
合計	116.28	100%	64.89	100%

①排水機場一覧

	名称	河川名	設置年月	位置	現況排水能力 (m ³ /s)
三次河川 国道事務所 管内	北溝川排水機場	江の川	昭和39年12月	140K050 右岸	6.0
	十日市排水機場	江の川	昭和50年6月	140K100 右岸	15.0
	畠敷 救急内水排水機場	馬洗川	平成7年3月	4K500 右岸	3.0
	瀬谷 救急内水排水機場	江の川	平成10年5月	150K400 右岸	2.0
	願万地排水機場	馬洗川	平成13年6月	2K300 右岸	4.0



②河川防災 ステーション



河川防災ステーション施設内容・機能一覧

種類	面積 (m ²)	施設内容・機能	
		水防活動時	平常時
水防センター	560	現地対策本部、水防団待機室	河川等資料館
災害対策車両基地	730	排水ポンプ車、照明車などの車庫	排水ポンプ車、照明車などの車庫
ヘリポート	1,170	災害時の調査、救護物資輸送等	多目的広場
資材置場	1,470	水防用資材の備蓄	
築山	580	土のう等の製造や積込みのスペース	利用者の駐車場
作業ヤード	580	土のう等の製造や積込みのスペース	
車両交換所	950	運搬車両、クレーン等の回転場	利用者の駐車場
建設機械頭所用スペース	320	作業機械の待機場所	
駐車場	1,470	水防用車両の駐車場	利用者の駐車場
その他	5,900	場内道路、緑地帯、市道	場内道路、緑地帯、市道
合計		約13,150m ² のうち防災ステーション施設面積は約11,650m ² です。	

③土師ダム



土師ダム諸元

流域面積	307.5km ²
型式	重力式コンクリートダム
目的	洪水調節、 流水の正常な機能の維持 かんがい、上水、工水、発電
堤高	50m
堤長	300m
総貯水容量	47,300千m ³
有効貯水容量	41,100千m ³
洪水調節容量	31,500千m ³

④灰塚ダム



灰塚ダム諸元

流域面積	217.0km ²
型式	重力式コンクリートダム
目的	洪水調節、 流水の正常な機能の維持 上水
堤高	50m
堤長	196.6m
総貯水容量	52,100千m ³
有効貯水容量	47,700千m ³
洪水調節容量	38,000千m ³

2-3.排水施設、排水資機材の配備(中国地方整備局) 国土交通省

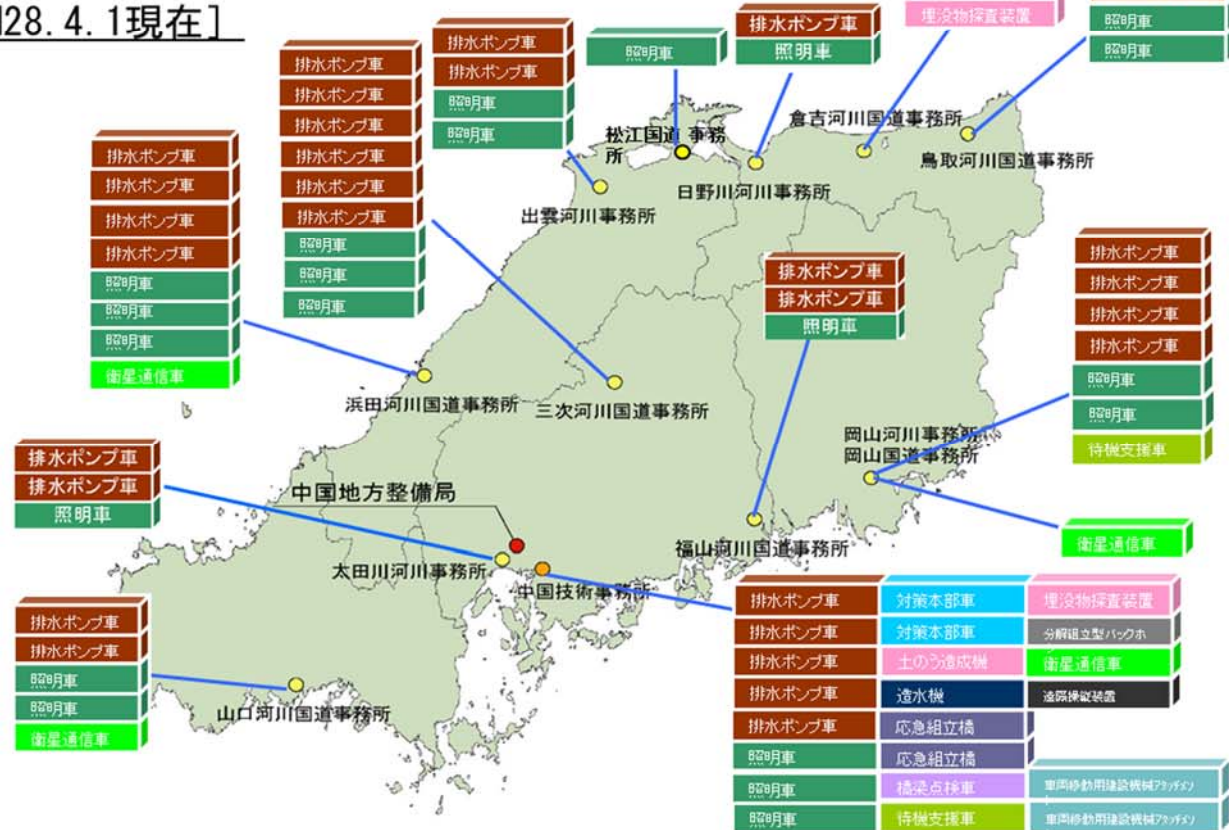
○排水ポンプ車や照明車等の災害対策車両・機器は平常時から定期的な保守点検を行うとともに、機械を扱う職員等への教育体制も確保し、常時、災害発生による出動体制を確保する必要がある。



- 対策本部車
- 排水ポンプ車
- 排水ポンプ車
- 排水ポンプ車
- 照明車
- 照明車
- 照明車
- 衛星通信車
- 造水機
- 橋梁点検車
- 待機支援車
- 遠隔操縦装置
- 埋没物探査装置

災害対策用機械配備一覧 [H28. 4. 1現在]

機 械 名	台 数
対策本部車	3
排水ポンプ車	33
照明車	24
衛星通信車	5
土のう造成機	1
造水機	2
応急組立橋	2
橋梁点検車	2
待機支援車	3
遠隔操縦装置	2
埋没物探査装置	2
分解組立型バックホウ	1
車両移動用建設機械アタッチメント	2

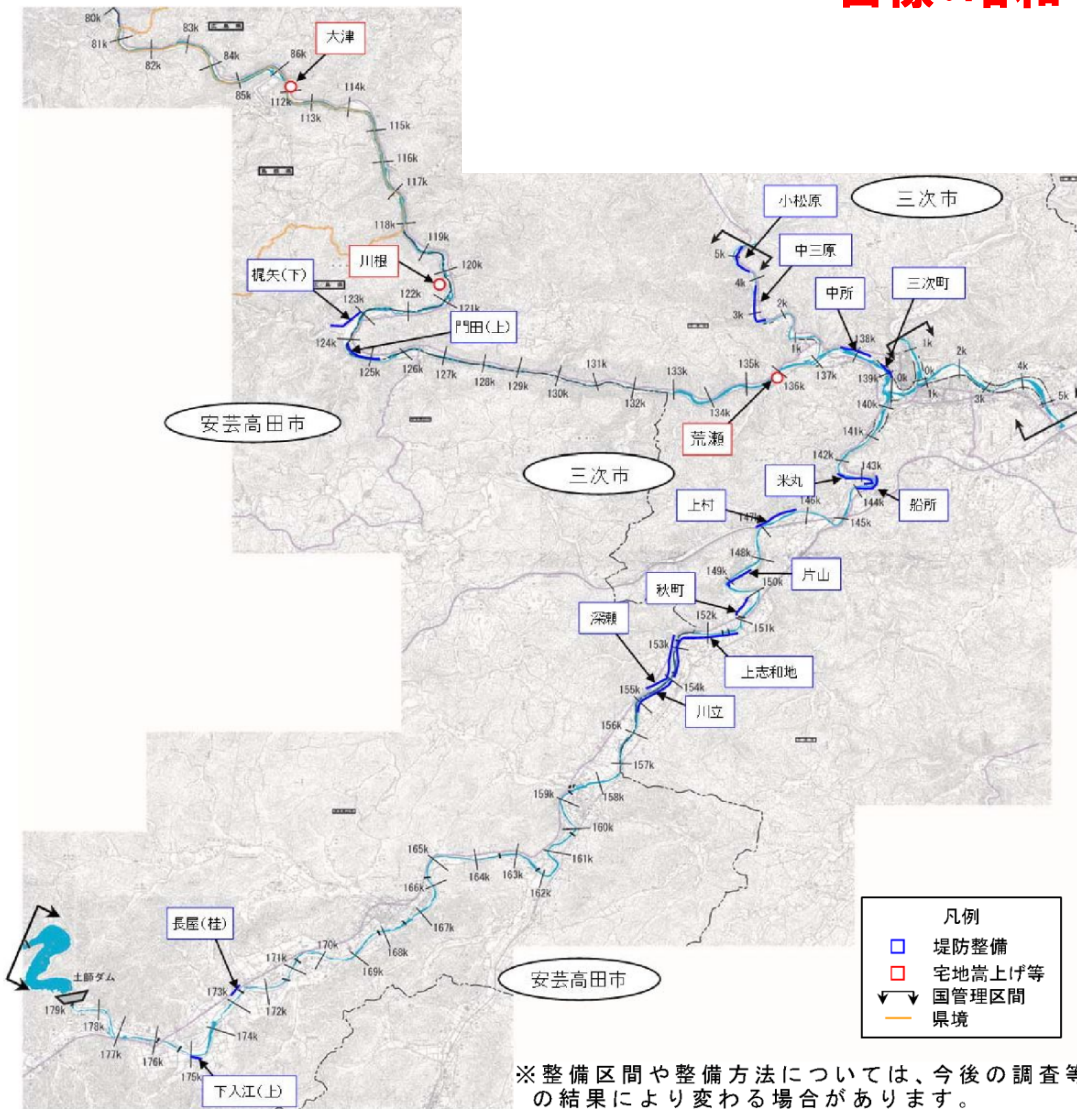


3.堤防等河川管理施設の今後(概ね30年)の整備内容 国土交通省

- 現在、堤防が整備されていない区間、堤防の高さや断面の不足区間で堤防整備を実施している。
- 地形的制約等がある場合で、宅地嵩上げ等による整備が効率的な箇所については、水防災事業を活用した宅地嵩上げ等による対策を実施している。

堤防整備または宅地嵩上げ等を実施する箇所の位置図

目標: 昭和47年実績洪水において、家屋浸水を防ぐ



※整備区間や整備方法については、今後の調査等の結果により変わる場合があります。

堤防整備

河川名	施行の場所		
	左右岸	地区名	区間
江の川	左岸	梶矢(下)	123.0 k付近 ~ 123.8 k付近
	右岸	門田(上)	124.4 k付近 ~ 125.4 k付近
	右岸	中所	137.6 k付近 ~ 138.4 k付近
	右岸	三次町	138.8 k付近 ~ 139.2 k付近
	左岸	米丸	142.4 k付近 ~ 143.6 k付近
	右岸	船所	143.3 k付近 ~ 143.9 k付近
	左岸	上村	146.2 k付近 ~ 147.1 k付近
	右岸	片山	148.4 k付近 ~ 149.2 k付近
	左岸	秋町	150.1 k付近 ~ 151.0 k付近
	右岸	上志和地	151.2 k付近 ~ 153.8 k付近
	左岸	深瀬	152.7 k付近 ~ 154.6 k付近
	右岸	川立	153.8 k付近 ~ 155.2 k付近
	左岸	長屋(桂)	172.4 k付近 ~ 172.8 k付近
	右岸	下入江(上)	174.8 k付近 ~ 175.0 k付近
神野瀬川	左岸	中三原	2.6 k付近 ~ 3.7 k付近
	左岸	小松原	4.4 k付近 ~ 5.4 k付近

宅地嵩上げ等

河川名	施行の場所		
	左右岸	地区名	区間
江の川	右岸	大津	111.9 k付近 ~ 112.0 k付近
	左岸	川根	120.3 k付近 ~ 120.8 k付近
	左岸	荒瀬	136.0 k付近 ~ 136.0 k付近

4-1.過去の水害情報(江の川)

○江の川流域では、これまでも堤防の決壊や越水により浸水被害が発生。

○昭和47年7月の洪水は大災害となり、それまで戦後最大の洪水であった昭和20年9月洪水の水位、流量及び被害ともに大幅に上回っている。



三次市十日市地区 馬洗川の破堤箇所

江の川流域における主な洪水(被害)状況

洪水発生年	原因	尾関山		被害状況
		2日雨量 (mm)	流量 (m ³ /s)	
昭和20年9月17日	台風	207	—	死者・行方不明者 2,091人 家屋全半壊・流失 8,183戸 床上・床下浸水 68,536戸
昭和33年7月1日	梅雨	—	約 3,800	死傷者 7名 床上浸水 391戸 床下浸水 1291戸
昭和40年6月20日	梅雨	176	約 4,400	家屋全壊・流失 8戸 半壊・床上浸水 745戸、 床下浸水 261戸
昭和40年7月23日	梅雨	200	約 4,800*	家屋全壊・流失 100戸 半壊・床上浸水 3,056戸、 床下浸水 1,530戸
昭和47年7月12日	梅雨	346	約 6,900*	死者・行方不明者 28人 家屋全半壊・一部破損 3,960戸 床上浸水 6,202戸、 床下浸水 7,861戸
昭和58年7月23日	前線	158	約 4,600*	家屋全半壊・流失 206戸 床上浸水 1,115戸、 床下浸水 2,402戸
昭和60年7月6日	前線	219	約 4,200	家屋全半壊・流失 0戸 床上浸水 39戸、床下浸水 609戸
平成7年7月3日	梅雨	216	約 4,600	家屋全半壊・流失 0戸 床上浸水 2戸、床下浸水 34戸
平成10年10月18日	台風	142	約 4,900*	家屋全半壊・流失 0戸 床上浸水 1戸、床下浸水 37戸
平成11年6月29日	前線	134	約 5,300	家屋全半壊・流失 0戸 床上浸水 35戸、床下浸水 253戸
平成18年7月19日	梅雨	149	約 3,400	家屋全半壊・流出 0戸 床上浸水 8戸、床下浸水 145戸
平成18年9月16日	台風	132	約 2,400	家屋全半壊・流出 3戸 床上浸水 77戸、床下浸水 176戸
平成22年7月14日	前線	178	約 3,700	家屋全半壊・流出 0戸 床上浸水 21戸、床下浸水 36戸

4-2 主な洪水被害(戦後)

広島県高田郡吉田町地先 昭.33.7.1.
(中国新聞社 提供)

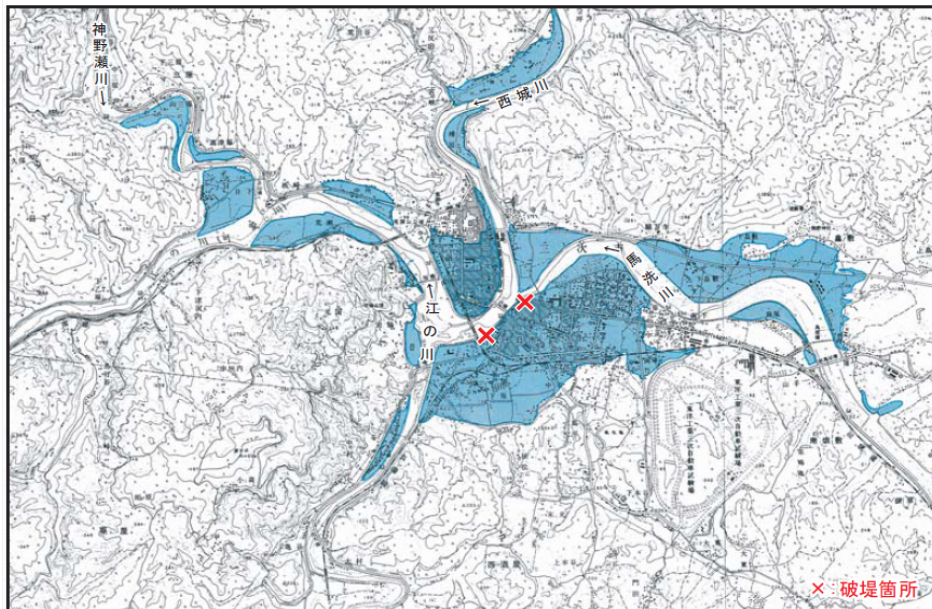
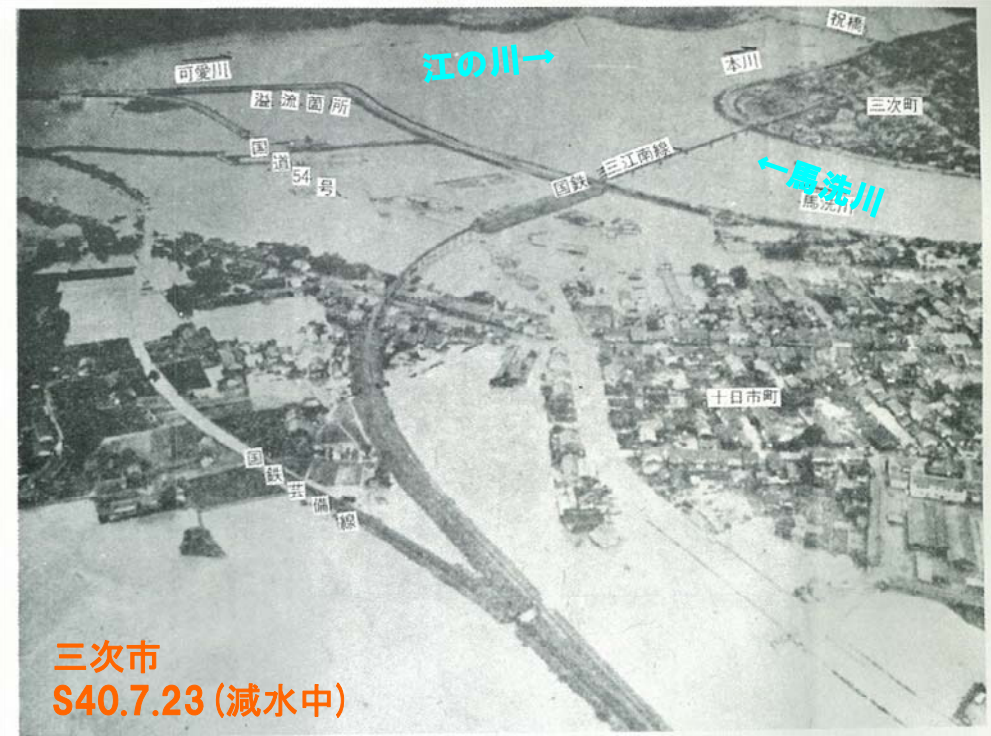


図-3 昭和47年7月豪雨の浸水状況(三次市街地)



昭和47年7月豪雨 昭和47年(1972)7月9日～12日

昭和47年7月豪雨 概要

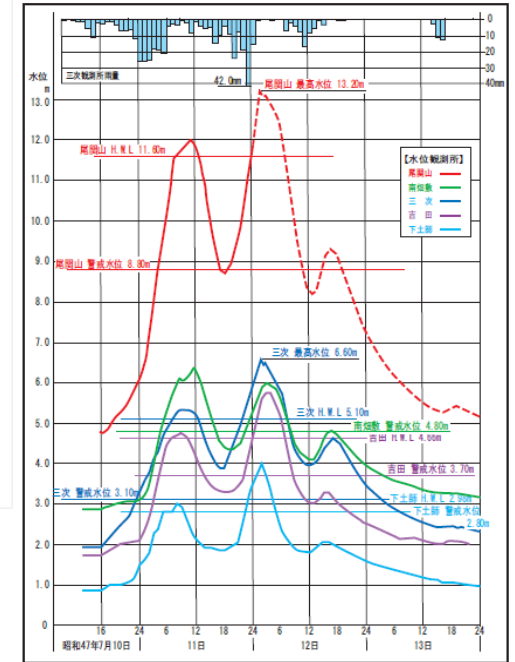


三次市十日市地区 馬洗川の破壊箇所

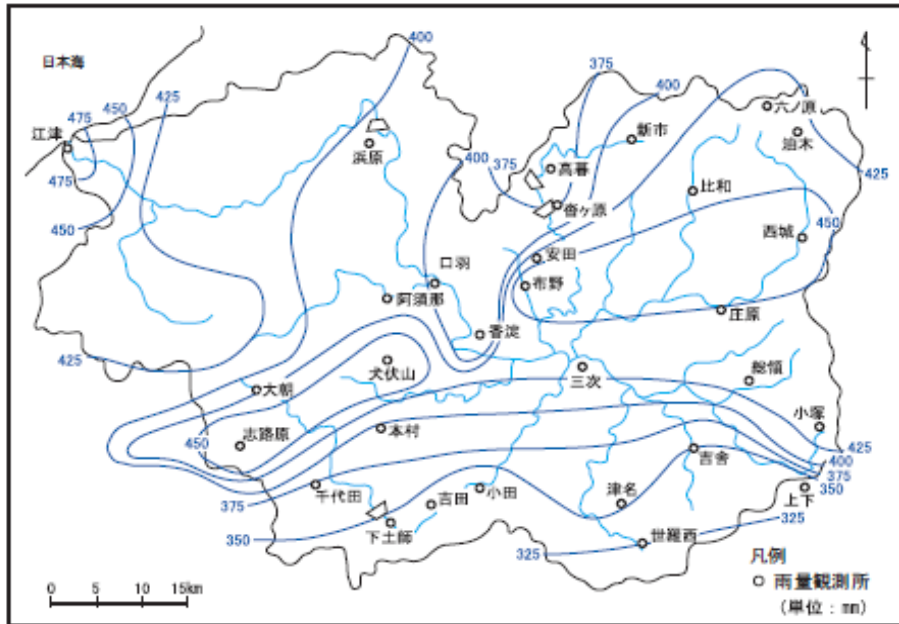
●一般被害情報

区分	江の川上流域		
	三次市	安芸高田市	その他
死者(人)	9	0	8
行方不明(人)	1	1	1
負傷者(人)	38	2	21
床上浸水(棟)	2,540	479	1,033
床下浸水(棟)	2,365	774	2,685
全壊・流失(棟)	108	20	78
半壊(棟)	1,806	116	333

その他：庄原市、北広島町、世羅町、府中市
昭和47年7月豪雨災害誌（広島県）



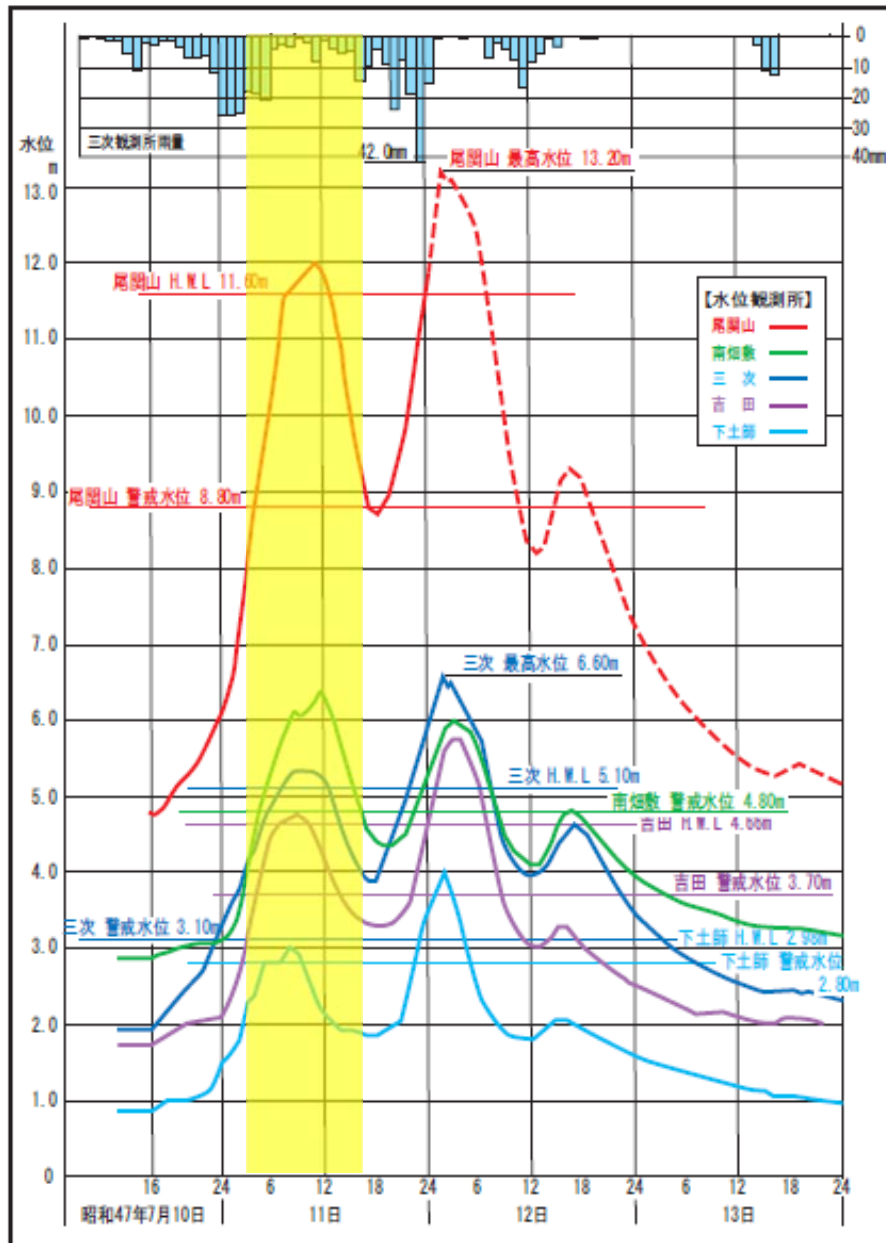
●昭和47年7月豪雨の出水記録



●昭和47年(1972)7月9日9時～12日9時の降雨量分布



三次市十日市地区 市役所前通り



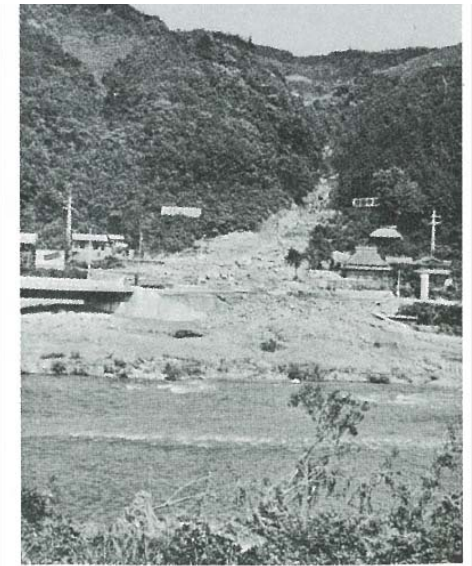
●昭和47年7月豪雨の出水記録

①11日4時～6時

崖崩れ・内水氾濫・無堤部の溢水・
橋梁の流出



激流橋脚を嘔む巴橋，対岸は三次住吉町
(7月11日午前11時半頃)



栗屋町小森谷の山くずれ，
左右に走るは国道54号線

②11日7時頃

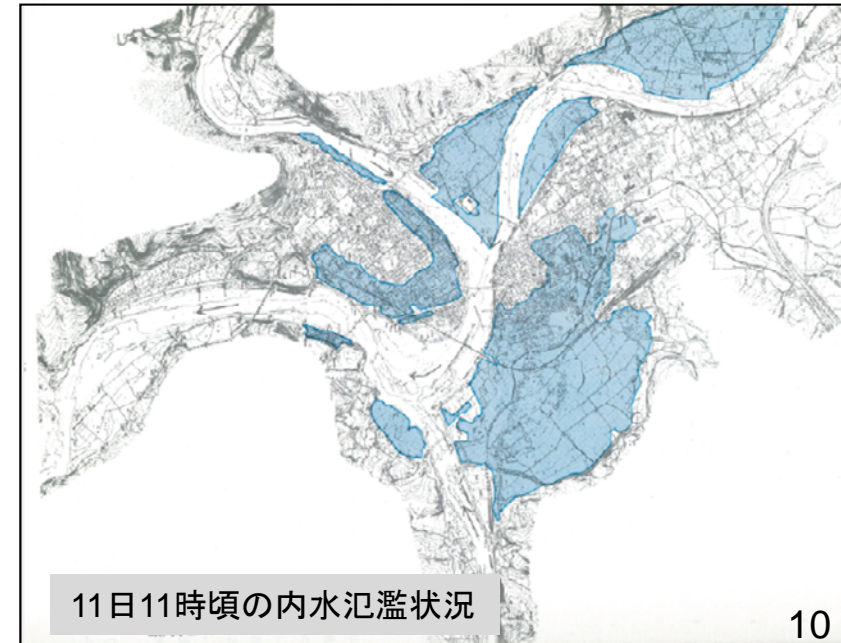
- ・内水位が急上昇(北溝川・片丘川溢水)
- ・国道54号冠水
- ・堤防漏水の発生

③11日9時20分

- ・災害救助法申請

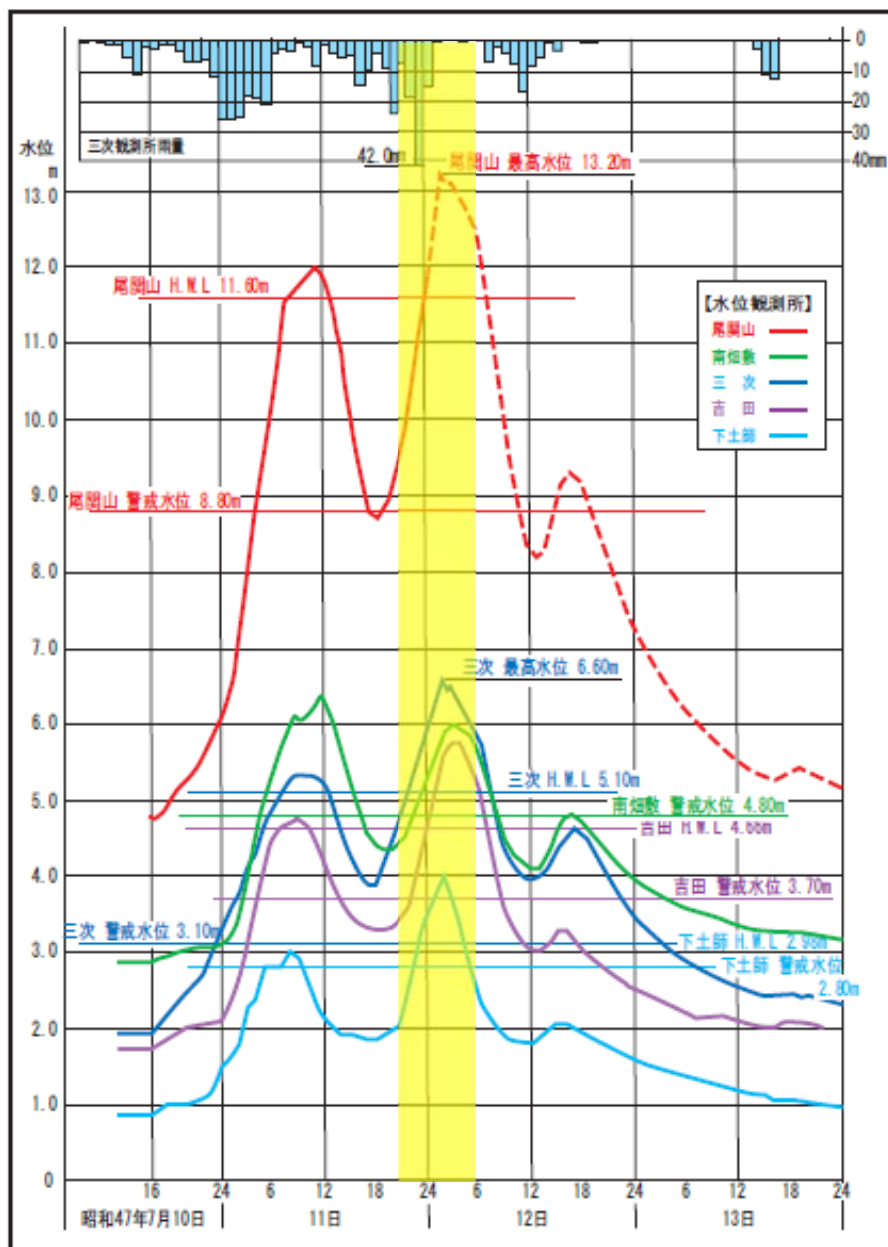
④11日16時頃

- ・自衛隊到着

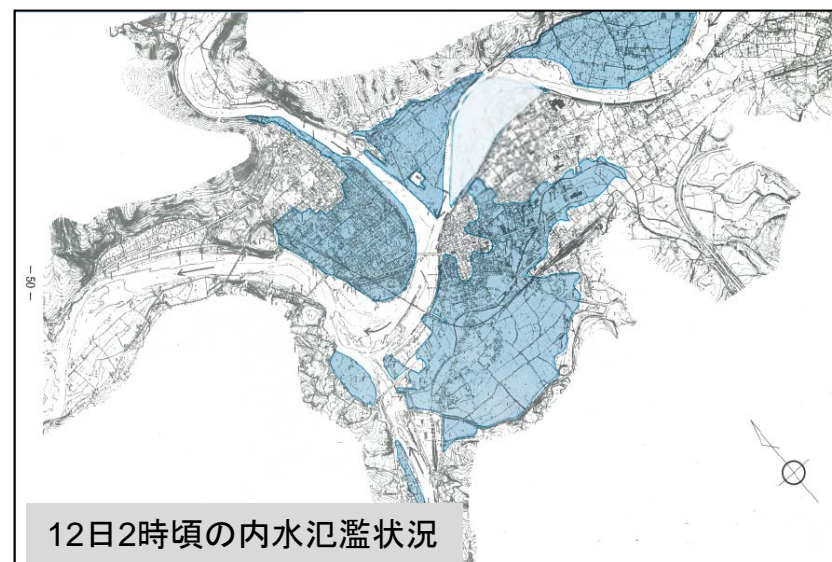


11日11時頃の内水氾濫状況

- ⑤12日0時30分 : 熊見発電所が浸水し、三次市内全域の停電
- ⑥12日0時40分 : 三次町に避難命令
- ⑦12日1時頃 : 北溝川。片丘川の溢水及び馬洗川の漏水で内水位が急上昇
- ⑧12日1時20分 : 十日市町に避難命令(広報車は内水により回れなかった。)
- ⑨12日2時30分頃 馬洗川堤防決壊:家屋倒壊や2階以上の浸水有り



●昭和47年7月豪雨の出水記録



12日2時頃の内水氾濫状況

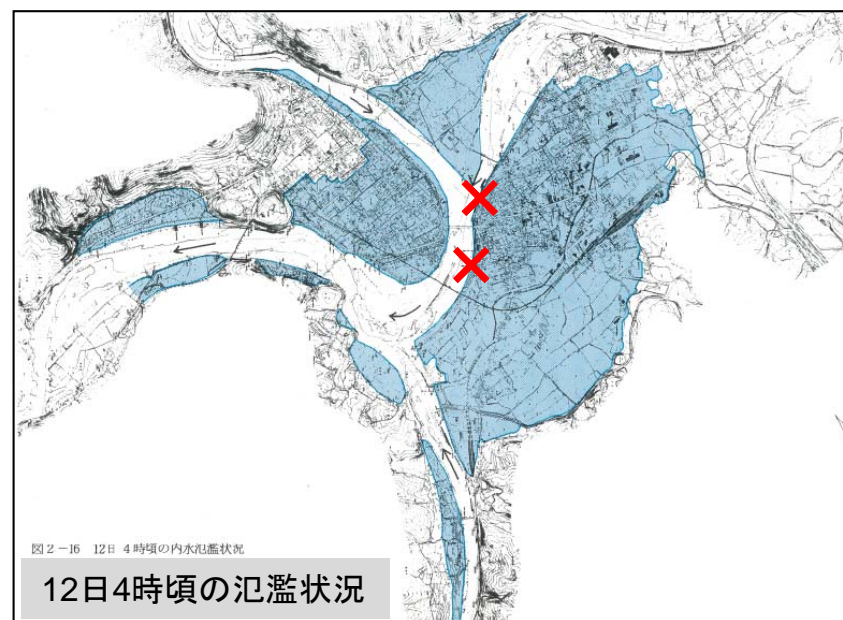


図2-16 12日4時頃の内水氾濫状況

12日4時頃の氾濫状況

交通の途絶①



安芸高田市吉田町大浜地区 国道54号

交通の途絶②



安芸高田市甲田町瀬戸地区 JR芸備線

交通の途絶③



三次市栗屋町 栗屋橋

交通の途絶④



三次市作木町港地区

堤防決壊



孤立者発生①



孤立者発生②



孤立者発生③



災害時要配慮者施設の浸水



三次市十日市地区 十日市保育所

避難所の浸水



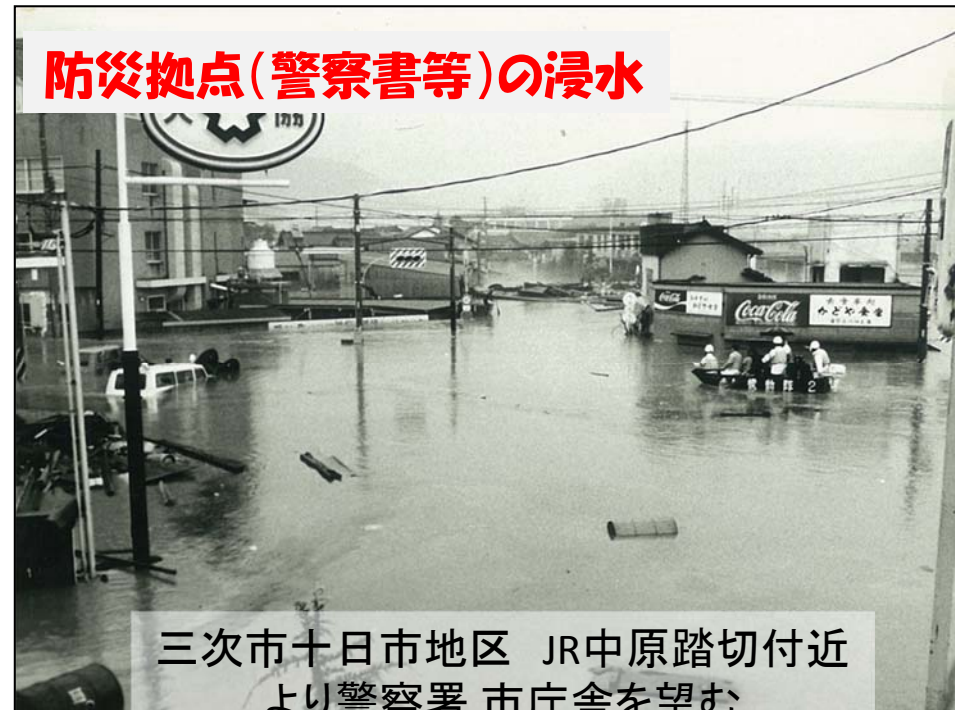
三次市作木町港地区 旧作木中学校

防災拠点(市役所)の浸水



三次市役所庁舎中庭

防災拠点(警察署等)の浸水



三次市十日市地区 JR中原踏切付近より警察署,市庁舎を望む